

令和4年度事業実施報告

令和4年度に実施した事業一覧を以下に示す（表1）。

表1. 北陸認知症プロフェッショナル医養成プラン(認プロ) 令和4年度事業実施一覧

事業名	日程	備考
1.事業推進計画の策定及び推進		
令和4年度 第1回運営協議会	R5.2月	北陸3県の自治体、医師会、地域医療機関等からの委員の指導・助言を受け、運営協議会終了後に開催される令和4年度 第1回事業推進委員会における令和5年度以降の事業計画策定に反映
令和4年度 第1回事業推進委員会	R5.2月	令和4年度 第1回運営協議会の意見を踏まえ、令和5年度事業実施計画について審議・策定
2.教務関係の活動		
教育コース履修者の受け入れ	通年	平成26年度末から金沢大学・富山大学・福井大学・金沢医科大学において募集を継続
認知症メディカルスタッフ e-learning 講義の開設と受講者の受け入れ	通年	医師を除く認知症医療・対策に関わるすべての職種の方(看護師・保健師・リハビリ関係・薬剤師・栄養士・ソーシャルワーカー・研究者など)を対象に開講
認プロ e-learning 講義科目の提供	通年	e-learning による講義科目全40コマを提供
デメンシアカンファレンス	通年	1回/月10施設(4大学・6病院)・Web会議システムにて実施
第6回 認プロシンポジウム	R4.10月	認知症医療において第一線で活躍する講師3名によるシンポジウム Web会議システムにて実施
第24回 認プロFD講演会	R5.2月	認知症医療において第一線で活躍する講師2名による講演 Web会議システムにて実施

1. 事業推進計画の策定及び推進

(1) 令和4年度の事業推進計画

令和4年度の事業推進計画を、令和4年2月21日開催の「令和3年度第1回事業推進委員会」における審議の結果に基づき策定した。

(2) 北陸認知症プロフェッショナル医養成プラン事業共同実施協定に基づく事業の継続

平成31年3月31日をもって文部科学省の補助金事業「課題解決型高度医療人材養成プログラム」が終了したため、平成31年4月1日付けで、金沢大学、富山大学、福井大学、金沢医科大学の4大学間で新たに「北陸認知症プロフェッショナル医養成プラン事業共同実施協定」を締結した。令和元年度よりこの協定に基づき各大学において予算を確保し、当事業の実施を継続している。

(3) 運営協議会の開催

令和5年2月20日、Web会議システムを利用し、「令和4年度第1回運営協議会」を開催する。運営協議会では、北陸3県の自治体、医師会、地域医療機関等から委員の指導、助

言を受け、その結果は、同日開催予定の「令和4年度第1回事業推進委員会」において、令和5年度以降の事業計画策定のための審議に反映させる。

(4) 事業推進委員会の開催

令和5年2月20日、Web会議システムを利用し、「令和4年度第1回事業推進委員会」を開催する。アドバイザリーボードによる評価結果及び「令和4年度第1回運営協議会(同日開催)」の意見を踏まえ、令和5年度以降の事業実施計画について審議・策定する。

2. 教務関係の活動

(1) 教育コース履修者の受入

平成27年4月から、金沢大学、富山大学、福井大学、金沢医科大学において教育コース履修者の受入を開始した。今年度は、令和5年2月1日現在、4大学、全コース累計で募集人員16名／年に対し7名が新規に履修を開始している。

令和5年2月1日現在、コース別の履修者数は、【本科コース】16名、【インテンシブコース】61名、【スペシャルコース】5名、【スーパーコース】2名である（表2）。

表2. 各教育コース募集人員および履修者・修了者数(令和5年2月1日現在)

大学名	教育コース名	修業 年限	募集 人員 ／年	履修開始者数(名)								修了者数 (累計)
				H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	
金沢大学	認知症チーム医療リーダー養成コース(本科コース)	4年	2名	5	1	2	0	0	2	2	0	4名
	地域認知症専門医師研修コース(インテンシブ)	1年	2名	1	16	10	7	2	3	5	5	13名
	認知症・神経難病の臨床神経病理研修コース(スペシャル)	1年	1名	0	1	2	0	0	0	0	0	0名
	地域フィールド認知症早期発見・予防・ケア研修コース(スペシャル)	1年	1名	0	1	0	0	1	0	0	0	0名
	認知症スーパープロフェッショナル養成のための卒前・卒業後一貫教育コース(スーパーコース)	8年	1名	1	0	1	0	0	0	0	0	0名
富山大学	認知症チーム医療リーダー養成コース(本科コース)	4年	1名	1	0	2	0	0	0	0	0	1名
	地域認知症専門医師研修コース(インテンシブ)	1年	2名	2	5	2	0	1	0	0	2	3名
福井大学	認知症チーム医療リーダー養成コース(本科コース)	4年	1名	1	2	2	0	0	1	0	0	2名
	地域認知症専門医師研修コース(インテンシブ)	1年	2名	2	12	3	2	0	0	1	0	5名
金沢医科 大学	認知症チーム医療リーダー養成コース(本科コース)	4年	1名	3	1	0	0	0	0	0	0	0名
	地域認知症専門医師研修コース(インテンシブ)	1年	2名	5	1	0	1	0	0	0	0	0名
合計			16名	21	40	24	10	4	6	8	7	28名

※金沢医科大学の本科コースに2名、インテンシブコースに5名、福井大学のインテンシブコースに1名辞退あり。

(2) 認知症メディカルスタッフ e-learning 講座の継続開講と受講者の受入

平成27年度より開設している、認知症メディカルスタッフ e-learning 講座の紹介リーフレットを全国の認知症学会専門医教育施設へ送付する広報を行っている。令和5年2月1日現在、自己研鑽のための個人での受講は279名、医療施設内の研修等を目的として24施設2,226名、合計2,505名が受講中である(表3)。合計2,505名の内、北陸地域以外の受講者数は、719名である。

表3. 認知症メディカルスタッフ e-learning 講座職種別受講者数(令和5年2月1日現在)

職種	個人 受講者数	施設単位 受講者数	合計
看護師	109名	1,957名	2,066名
臨床検査技師	6名	11名	17名
放射線技師	2名	3名	5名
理学療法士	9名	38名	47名
作業療法士	18名	34名	52名
言語聴覚士	8名	18名	26名
臨床心理士/公認心理師	17名	6名	23名
薬剤師	31名	13名	44名
歯科衛生士	2名	1名	3名
保健師	5名	2名	7名
社会福祉士	2名	7名	9名
精神保健福祉士	7名	12名	19名
介護施設管理者	1名	4名	5名
介護支援専門員	9名	7名	16名
介護福祉士	7名	34名	41名
訪問介護員	1名	6名	7名
介護・生活相談員	3名	9名	12名
管理栄養士	3名	10名	13名
ソーシャルワーカー	5名	9名	14名
研究者	9名	0名	9名
医療情報担当者	6名	0名	6名
その他医療関係者等	19名	45名	64名
合計	279名	2,226名	2,505名

(3) プロフェッショナル科目の提供

認知症プロフェッショナル科目のうち e-learning による講義科目は、全40コマを提供している(表4)。

表4. e-learning 講義科目一覧

科目	回	テーマ	授業担当者名	授業担当者所属
1 認知症基礎	1	認知症の概要と疫学	山田 正仁	国家公務員共済組合連合会 九段坂病院
	2	認知症の病理学	坂井 健二	上越総合病院 神経内科
	3	認知症の分子遺伝学	濱口 毅	金沢医科大学 脳神経内科
	4	認知症の神経化学(神経伝達物質)・神経免疫学	岩佐 和夫	石川県立看護大学
	5	認知症の蛋白化学	小野 賢二郎	金沢大学医薬保健研究域医学系
	6	アミロイドーシスの分子機構	内木 宏延	福井大学医学部 分子病理学
2 認知症症候学	1	認知症の中核症状と BPSD	上原 隆	金沢医科大学 精神神経科学
	2	老年期の精神障害と認知症	川崎 康弘	金沢医科大学 精神神経科学
	3	老年期の気分障害と認知症	北村 立	石川県立こころの病院
	4	老年期の不安障害、睡眠障害、せん妄と認知症	田中 悠二	明石こころのホスピタル
	5	軽度認知障害	池田 篤平	金沢大学附属病院 脳神経内科
	6	認知症高齢者に合併しやすい身体症状とその対応	大黒 正志	金沢医科大学 高齢医学
3 認知症検査・診断学	1	認知症診療に必要な神経心理検査	東間 正人	医療法人社団青樹会 青和病院
	2	認知症の画像検査1(CT,MRI,MIBG,DAT imaging)	吉田 光宏	独立行政法人国立病院機構 北陸病院
	3	認知症の画像検査2(脳血流SPECT,FDG-PET,アミロイド PET)	松成 一朗	埼玉医科大学病院 核医学診療科
	4	認知症の血液・脳脊髄液検査	篠原 もえ子	金沢大学医薬保健研究域医学系
	5	認知症の神経生理検査-脳波-	東間 正人	医療法人社団青樹会 青和病院
	6	認知症診断のすすめ方	池田 篤平	金沢大学附属病院 脳神経内科
4 認知症治療・予防学	1	認知症の治療総論(薬物,ケア,リハビリ,終末期医療をふくむ)	森本 茂人	金沢医科大学病院認知症センター
	2	高齢者の薬物動態	森本 茂人	金沢医科大学病院認知症センター
	3	抗認知症薬	濱野 忠則	福井大学医学部 病態制御医学内科学(2)
	4	BPSD の治療	橋本 隆紀	独立行政法人国立病院機構 北陸病院
	5	生活習慣と認知症予防	篠原 もえ子	金沢大学医薬保健研究域医学系
5 認知症ケア・リハビリ・地域支援・倫理	1	認知症のケアとリハビリの基本・原則	木戸 幹雄	木戸クリニック
	2	認知症ケアの実践	島崎 正夫	医療法人社団和敬会 谷野呉山病院
	3	認知症リハビリの実践	横川 正美	金沢大学医薬保健研究域・医学系 リハビリテーション学科
	4	社会環境・資源1(認知症に関わる制度・政策)	北村 立	石川県立こころの病院
	5	社会環境・資源2(生活支援と地域連携)	北村 立	石川県立こころの病院
	6	認知症の人への配慮、法・倫理	北村 立	石川県立こころの病院
6 認知症各論1	1	アルツハイマー病	山田 正仁	国家公務員共済組合連合会 九段坂病院
	2	レビー小体型認知症	吉田 光宏	独立行政法人国立病院機構 北陸病院
	3	前頭側頭葉変性症	鈴木 道雄	富山大学大学院 医学薬学研究部 神経精神医学講座
	4	進行性核上性麻痺/大脳皮質基底核変性症	坂井 健二	上越総合病院 脳神経内科
	5	嗜銀顆粒性認知症/神経線維変化型老年期認知症	山田 正仁	国家公務員共済組合連合会 九段坂病院

7 認知症各論 □	1	血管性認知症	高嶋 修太郎	JCHO 高岡ふしき病院
	2	正常圧水頭症, 慢性硬膜下血腫, 頭部外傷	富岳 亮	金沢医科大学 氷見市民病院 脳神経内科
	3	代謝性疾患, 炎症性疾患, その他	林 浩嗣	福井医療大学保健医療学部 リハビリテーション科学
	4	プリオン病	濱口 毅	金沢医科大学 脳神経内科
	5	認知症と鑑別すべき精神疾患	高橋 努	富山大学大学院 医学薬学研究部 神経精神医学講座
	6	若年性認知症	濱野 忠則	福井大学医学部 病態制御医学内科学 (2)

(4) デメンシアカンファレンスの開催

平成26年度末に策定し、平成30年3月14日の「平成29年度第3回教務委員会」で改定を行った「デメンシアカンファレンス(DC)の運営手順」に基づき、10施設(金沢大学、富山大学、福井大学、金沢医科大学、国立病院機構医王病院、石川県立高松病院、国立病院機構北陸病院、医療法人社団和敬会谷野呉山病院、医療法人社団弘仁会魚津緑ヶ丘病院、福井県立すこやかシルバー病院)をWeb会議システムで結び、デメンシアカンファレンスを毎月1回開催している。デメンシアカンファレンスは、認知症プロフェッショナル科目の1コマ分に充当する(表5)。

令和3年4月以降はテレビ会議システムを廃止し、Web会議システム(Webex)によりデメンシアカンファレンスを開催している。Web上で開催したデメンシアカンファレンスは、リアルタイムで視聴できない参加者の為に録画し、次回のデメンシアカンファレンスルーム開催までの間あるいは1か月間、パスワードとIDを所有する人が視聴できるようにしており、認プロのホームページ上に案内を掲載している。

令和4年4月から12月までに開催された第83回から第91回までのデメンシアカンファレンスに延べ282名が参加し、うち教育コース履修者は延べ59名であった。各大学から診断や治療に難渋した症例が提示され、毎回活発な議論が行われている。

表 5. 令和 4 年度デメンシアカンファレンス

回	開催日	担当大学	症例
第 8 3 回	4/26	金沢医科大学	うつ病と DLB の鑑別が困難であった 1 例
第 8 4 回	5/31	金沢大学	亜急性に高次脳機能障害と歩行障害が進行した自己免疫性髄膜脳脊髄炎の一例
第 8 5 回	6/14	富山大学	正常圧水頭症との鑑別が必要で、手術で歩行障害、記銘力障害が改善した一例
第 8 6 回	7/6	福井大学	精神症状で発症した脳アミロイドアンギオパチー関連炎症の 1 例
第 8 7 回	8/19	金沢医科大学	非薬物療法により生活維持が可能であった高齢認知機能低下症例
第 8 8 回	9/27	金沢大学	Logopenic 型進行性失語を呈した非 Alzheimer 病の 1 例
第 8 9 回	10/25	富山大学	せん妄が重畳した嗜銀顆粒性認知症を疑われた一例
第 9 0 回	11/29	福井大学	高齢者うつ病の画像所見：前頭側頭型認知症との鑑別
第 9 1 回	12/6	金沢医科大学	3 年の経過で物忘れが進行し、頭部 MRI 拡散強調画像で大脳皮質や基底核に高信号を認めた 1 例
第 9 2 回	令和 5 年 1/24	金沢大学	【悪天候の為中止】
第 9 3 回	2/14	富山大学	構音障害、両側病的反射陽性で紹介された認知症の 1 例
第 9 4 回	3/1	福井大学	物忘れを主訴に受診した 78 歳女性の 1 例

(5) 認プロシンポジウムの開催

令和4年10月18日(火)にオンラインで「第6回認プロシンポジウム・COVID-19と認知症」を開催した。

講演はまず、下畑 享良先生(岐阜大学大学院医学系研究科脳神経内科学分野 教授)から、「Long COVIDの臨床と病態」と題して、long COVIDの病態についてご講演いただいた。つづいて稗田 宗太郎先生(昭和大学医学部内科学講座脳神経内科学部門 准教授)からは「COVID-19は認知症診療に影響を与えたのか」と題して認知症診療を行う医師の立場からお話いただき、最後に篠原 もえ子先生(金沢大学医薬保健研究域医学系 准教授)からは「コロナ禍が地域高齢者の精神健康状態と活動に及ぼす影響」と題して地域住民に対するコホート研究の結果についてご講演いただいた。

シンポジウムは、医師、研究者、メディカルスタッフ、学生など100名を超える参加があり、そのうち教育コース履修者は5名であった。

(6) FD講演会の開催

FD講演会は、認知症医療や研究等の第一線で活躍する講師を招いて教員やメディカルスタッフの資質向上と最新研究情報を得ることを目的としている。また、教育コースの認知症プロフェッショナル科目である。

令和4年度は、令和5年2月21日(火)にWeb会議システム(Webex)を利用しオンラインにて開催予定である。

回	開催日/ テーマ	講演者	演題
第24回	令和5年 2/21	神戸大学大学院保健学研究科 教授 神戸大学認知症予防推進センター長 古和 久朋先生	早期診断・早期介入,そして共生を目指した認知症神戸モデル
	テーマ: 認知症と 暮らし	九州大学大学院医学研究院衛生・ 公衆衛生学分野 教授 九州大学大学院医学研究院附属総合 コホートセンター 教授 二宮 利治先生	地域住民における認知症コホート研究 ～筋力低下予防の重要性:久山町研究

(7) 教育コース履修者へのアンケート調査の実施

令和4年7月に教育コース履修者及び修了者を対象にアンケート調査を実施した。(参考資料1:9~11ページ)

令和4年度教育コース履修者アンケート回答（回答数7）

e-learning 講義について

Q1 e-learning 講義を利用していますか？

1. よく利用している (1)
2. 利用している (4)
3. あまり利用していない (2)
4. 受講したことがない (Q3 へ) (0)

Q2 e-learning 講義は認知症の学習に役立っていますか？

1. 非常に役立っている (4)
2. 役立っている (3)
3. どちらともいえない (0)
4. あまり役立っていない (0)
5. 全く役立っていない (0)

Q3 e-learning 講義について、改善した方がよい点やコメントなどあればご記入ください。

- ・資料をPPTかPDFでダウンロードできるようにして頂き、繰り返し学習可能な形になると嬉しいです。
- ・内容の改訂を重ねてほしい。デメンシアカンファレンスのまとめを載せて更新してほしい。

デメンシアカンファレンスについて

Q4 令和3年度、デメンシアカンファレンスには参加しましたか？

1. 参加した (6)
2. 参加していない (1)

Q5 Q4で参加したデメンシアカンファレンスは、認知症の学習に役立っていますか？

1. 非常に役立っている (2)
 2. 役立っている (4)
 3. どちらともいえない (0)
 4. あまり役立っていない (0)
 5. 全く役立っていない (0)
- 無回答 (1)

Q6 デメンシアカンファレンスの良かった点、改善した方がよい点、今後参加してみたいイベントの内容があればご記入ください。

- ・カンファレンスの主催者は何かのコメントをしてください。
- ・時間的に30分というのは参加しやすく、メリハリのある構成で今後も同様の形式を希望します。
- ・自分の科の領域ではない精神科領域の症例も学べるので勉強になります。

その他

Q7 その他、認プロについてご意見やご要望がございましたらご記入ください。

- ・いつもお世話になっております。遠隔で視聴及び参加が可能で感染リスクもなく、最新の知見や報告を享受できる事に感謝しております。今後ともよろしくお願い致します。

令和4年度 教育コース修了者アンケート回答（回答数7）

e-learning 講義について

Q1 e-learning 講義を終了後利用していますか？

1. 終了後も利用している (3)
2. 終了後は利用していない (4)

Q2 e-learning 講義は認知症の学習に役立っていますか？

1. 非常に役立っている (5)
2. 役立っている (2)
3. どちらともいえない (0)
4. あまり役立っていない (0)
5. 全く役立っていない (0)

Q3 Q2 について具体的な例などございましたらご記入ください。

Q4 e-learning 講義について、改善した方がよい点やコメントなどあればご記入ください。

- ・インテンシブコース修了していますが、症例提示が大変勉強になります。
- ・参加型の要素が乏しい。もっと quickly に双方向だと良いと思う。
- ・できれば動画速度が調整できればよい。

イベントについて

Q5 履修中に参加したイベントは何ですか？（複数回答可）

1. デメンシアカンファレンス (7)
2. 認プロFD講演会 (2)
3. キャリアアップ支援セミナー (1)
4. 認知症チーム医療・ケアセミナー (1)
5. 認知症地域連携・多職種ワークショップ (1)
6. 認プロシンポジウム (2)
7. 認プロ市民公開講座 (1)
8. いずれも参加したことがない (0)

Q6 Q5 で参加したイベントのうち、認知症の学習に役立ったイベントは何ですか？（複数回答可）

1. デメンシアカンファレンス (6)
2. 認プロFD講演会 (2)
3. キャリアアップ支援セミナー (0)
4. 認知症地域連携・多職種ワークショップ (0)
6. 認プロシンポジウム (1)
7. 認プロ市民公開講座 (0)

Q7 Q5 で参加したイベントの良かった点、改善した方がよい点、今後参加してみたいイベントの内容があればご記入ください。

- ・認知症チーム医療・ケアセミナーがあれば参加したいです。

教育コース修了後の活動について

Q8 現在の勤務先を下記より選び、番号に○を付けてください。

1. 大学病院 (0)
2. 公立病院 (0)
3. 私立病院・医院 (5)
4. 施設 (0)
5. その他 () (2)

Q9 現在どのような業務に携わっていますか？（複数回答可）

- ・臨床 (7)
- ・研究 (1)
- ・認知症診療にかかわるスタッフ教育 (2)
- ・認知症診療 (4)

Q10 認プロ教育コースで受講した内容は、修了後の活動に役立っていますか？

1. 非常に役立っている (5)
2. 役立っている (2)
3. どちらともいえない (0)
4. あまり役立っていない (0)
5. 全く役立っていない (0)

Q11 Q10で、具体的にどのように役立っているか、もしくは活動に生かす上で改善すべきと思われる点について教えてください。

- ・回答なし

その他

Q12 その他、認プロについてご意見やご要望がございましたらご記入ください。

- ・回答なし